

令和6年度当初予算市長復活査定総括表

別紙1

(単位:千円)

事業名	令和5年度現計予算額		令和6年度当初総務部長内示額						令和6年度当初予算市長復活要求額						市長復活査定額					
	総額	一般財源	総額	国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源
1 認知症徘徊対策事業	0	0	0	0	0	0	0	0	559	215	107	0	128	109	0	0	0	0	0	0
2								0						0						0
3								0						0						0
4								0						0						0
5								0						0						0
6								0						0						0
7								0						0						0
8								0						0						0
9								0						0						0
10								0						0						0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	559	215	107	0	128	109	0	0	0	0	0	0

令和6年度当初予算 市長復活査定書

別紙2

(目名) 任意事業費

(細目名) 家族介護支援事業

(事業名) 認知症徘徊対策事業

(単位:千円)

	総額	財源内訳					査定総額	財源内訳				
		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源
令和4年度当初予算額	0											
令和4年度決算額	0											
令和5年度当初予算額	0											
令和5年度現計予算額	0											
令和6年度当初要求額	559	215	107	0	128	109						
令和6年度当初総務部長内示額												
令和6総務部長復活内示額												
令和6年度復活要求額	559	215	107	0	128	109						

債務負担行為 1225 千円(令和6年度～ 令和8年度)

事業内容	予算要求内容
(目的) 認知症になっても、本人・介護者ともに安心して暮らせるまちづくりを推進する。	【事業啓発費用】 150,000円(チラシ印刷10,000部+デザイン費)
(概要) 認知症の高齢者等が徘徊した際に早期発見でき、事故等の防止につながることが見込める。また、GPSがあることで家族等の介護者が安心して介護できる環境が整備される。	【購入助成費用】 初期費用7,700円(税込) × 53名 = 408,100円 ※月額利用料1,320円(税込)は利用者負担
(根拠法令)	
[復活理由] 高齢化が進んでいる本市において、今後より徘徊して保護される高齢者等が増加すると推測される。そのような社会情勢であるため、徘徊の恐れがある方に対してGPSの導入補助をすることで、徘徊時の早期発見・事故等を防止する。加えて、日頃の見守りにも活用できるため、介護者の負担軽減・安心感にもつながる。 また、既に徘徊時の対策として行っている「阪南市認知症高齢者等SOSネットワーク事業」と連動させることで、SOS登録者の増加・徘徊時の検索活動の効率化が見込めるため、市の事業として購入補助をし、GPSの導入を促進する必要がある。	

部課名

健康福祉部介護保険課